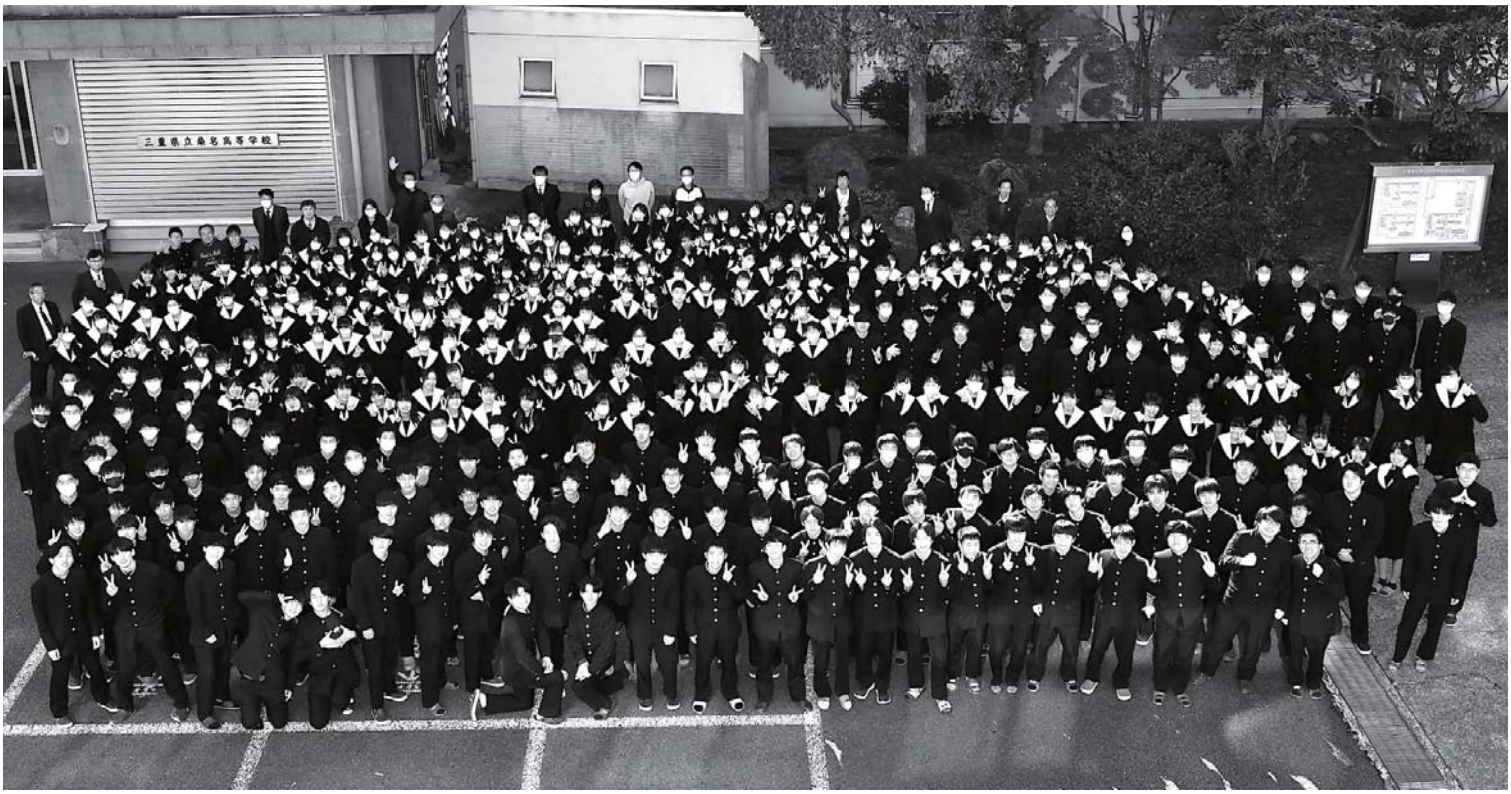
第 40 号
2022年（令和4年）３月1日

会報
桑高同窓会



令和4年３月卒業生

内　　容

同窓会会長・校長先生ご挨拶……Ｐ２
東京支部・関西支部の活動……Ｐ３
桑高制服が変わります……Ｐ４
桑高制服の歴史（百周年記念史より）……Ｐ５
同窓会活動トピックス……Ｐ６
同窓会活動写真……Ｐ７
桑高生行事写真 ……Ｐ８
大学合格状況・卒業生数……Ｐ９
卒業生代表幹事一覧・母校の活躍……Ｐ10
同窓会事業及び会計報告・役員一覧……Ｐ11
桑高奨学財団の報告・公式ホームページ……Ｐ12

令和４年卒クラス幹事

発行編集　〒511-0811 三重県桑名市東方1795　三重県立桑名高等学校同窓会

ご挨拶

桑高同窓会会長
伊藤　隆彦
（11回生）

コロナ蔓延防止の為の緊急事態宣言は、昨年10月に解除されたとは言うものの、オミクロン株が世界で蔓延しつつあり、今後の見通しは決して甘く無いのではないかとの懸念が頭をよぎっています。

12月3日現在で、このオミクロン株は世界36か国で検出されているとの報道がされていますこともご案内の通りです。

これまでに、世界では2億2千万人以上がコロナに感染していると報じられており、また5百万人を超える方達が、コロナでお亡くなりになっているとのことです。

日本でも172万人を超えた人々が、コロナに感染したと言われております。ワクチンの接種も進んだこともあり、その効果を期待したいと思っております。

同窓会報第三十九号で書かせていただきました「私達、桑名高等学校の同窓会の会員も、コロナ禍で、もし在校生が、家計が苦しくなり、就学困難となり、場合によっては退学せねばならない生徒が一人でもいるなら、助けることを考えるのが、嘗て同じ学び舎で学んで、今がある同窓生の務めではないでしょうか」を実現する為に、「一般財団法人県立桑名高等学校同窓会奨学財団」を、この4月に立ち上げました。

この財団は、同窓生からの3千万円という大金の寄付を受けて（寄付されました同窓生は、匿名希望のためお名前を明かせないことをお許しください）立ち上げることが出来ました。

少しでも長く、返済不要の奨学金の給付を続けるために、更なる寄付を募る準備をしています。寄付金額は、最小限1万円を予定しておりますので、是非ご寄付をお願いいたします。

一人1万円の御寄付でも、千人からご寄付を戴けば1千万円になります。また、奨学財団は現在一般財団法人ですが、高額のご寄付をしていただいた寄付者への税額控除といった税制上の優遇措置をご享受いただくため、「公益財団法人」への認定の申請準備を理事会で鋭意進めております。

奨学財団の理事会も、コロナ感染防止の為、ZOOMを使ったテレワークで行ってきました。また同窓会に於いても令和3年度の役員会・幹事総会に於いては、「書面承認」とさせていただきました

コロナ禍も、2019年12月初旬に中国の武漢で発生して以来、足掛け3年目となりましたが、1日も早い世界での終息を願うばかりです。

ご挨拶

桑名高等学校校長
伊藤　隆之

同窓会の皆様には、平素より、本校教育活動に多大なるご支援、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

猛威を振るった新型コロナウイルス感染症第5波が、一定落ち着きを見せはしましたが、続く第6波の大きさは尋常ではなく、さらに厳しい学校運営を強いられています。

経済や社会に甚大な影響が出ている中、収束に向けた不断の努力を続けておられる医療関係者をはじめ各現場で過酷な業務に就いておられる方々に、心からの敬意と感謝の意をお伝えしたいと思います。同窓会の皆様におかれましても、それぞれのお立場で新型コロナウイルスに係る影響と闘ってみえることに、心より敬意を表します。

さて、昨年度初めの全国一斉臨時休校に伴う学習の遅れに対しまして、本校では、素早く取り組みました「オンライン授業」等により学習を進め、令和2年度末大学入試では、難関大学・医学部を含め、172名が国公立大学に合格しました。また衛生看護専攻科修了生全員が、看護師国家試験に合格いたしました。

一昨年度、文部科学省から「SSH：スーパーサイエンスハイスクール」に指定され、高校でありながら、自分たちでテーマを決めて、大学教授等のご指導をいただき、研究を進め、その成果を、京都大学などの大学・学会・国際大会などで発表しています。

一方、今年度においてもコロナ禍の中、様々な学校行事の中止や変更を余儀なくされました。特に同窓会の皆様にお世話になっております桑高祭の「うどん部屋」につきましては、昨年度と同様、ご出店頂くことが出来ませんでしたことが残念でなりません。

こうした中、同窓会におかれましては、「一般財団法人　県立桑名高等学校同窓会奨学財団」を設立され、返済不要の奨学金給付という全国でもあまり例を見ないご支援を始めていただきました。財団設立・運営にご尽力いただいております方をはじめ、すべての同窓会の皆様に心より厚くお礼申し上げます。

創立百十一年目を向かえました本校にも、コロナ禍での新しいグローバル社会・SDGs・ダイバーシティーなど時代の流れが大きく押し寄せています。そこで、学校関係者評価委員のご指導のもと、これまでの伝統を大切にしながら新しい時代に沿う制服を考えました。内覧会ではすべての方から高い評価をいただき、正式に採用することにいたしました。

桑高生は各界で活躍されておられる卒業生に温かく見守られているありがたさを実感いたしております。これからも引き続き桑高同窓会会員皆様からのご支援、ご協力を賜ります様重ねてお願い申し上げ、お礼のご挨拶といたします。

【東京支部】『私達は皆さんを歓迎します！』

支部長（理事）花村泰廣（34回生）

桑名高校同窓会の皆さまのご健勝をお喜び申し上げます。また、卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

世界中が新型コロナウイルスの脅威に怯えるようになってから早二年が経ちますが、コロナ前の日常に戻るにはまだまだ時間が掛かりそうです。今年卒業される皆さんは、高校生活の大半を制約された中で過ごされましたね。文化祭や体育大会、修学旅行、部活動等々、楽しみにされていた行事が中止になったり、延期されたりして大変な思いをされたと思います。

しかし一方で、コロナ感染予防をしながら授業や部活動をどのように行ったらよいのかと、みんなで知恵を出し合って、新しいことにもチャレンジできたのではないでしょうか。進化論で有名なダーウィンの言葉に「この世で生き残るものは、最も力の強いものではない。最も頭のいいものでもない。それは変化に対応できるものだ」というものがあります。学校も、会社も、社会も、変化を恐れるのではなく、変化を受け入れ、順応していくことこそがベストなソリューションだと思います。

桑高同窓会東京支部では、昨年、関東周辺や海外在住の同窓生に声を掛け、在校生の皆さんに贈る言葉を募りました。すでにご覧になられた方もいるかもしれませんが、今年もQRコードを再掲させて頂きますので、お時間のある時にご覧ください。これから大学進学される方も、就職される方も、自分の選択した道を進む中で、いくつもの壁を乗り越えていかなければならないでしょう。そんな時に、そういえば桑名高校の先輩がこんなことを言ってたなと思い出してもらえたなら、私たちにとって望外の喜びです。

東京支部で把握している関東周辺にお住いの桑高卒業生は、千数百人いらっしゃいます。毎年、同窓会や様々なイベント、桑名市主催の桑名人ネットワークパーティーなどに参加して頂いて交流を深めてきました。それもコロナ禍で二年間開催できていませんが、再開できるようになりましたら、是非とも皆さんもご参加ください。また、東京支部では、ホームページやフェイスブックでの情報発信も行っていますので、一度覗いてみてください。

東京支部では、皆さんを歓迎しています！

先輩からのメッセージ

東京支部FB　東京支部ＨＰ

【関西支部】名将「藤堂高虎」の言霊（ことだま）

支部長（理事）杉本芳昭（10回生）

桑高同窓会会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

今春ご卒業の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

今年の十二支は「寅」恵方は「北北西」です。今新型コロナウイルスから新異変株オミクロンに置き変わる世の中です。すごい勢いで蔓延しています。この世の中不安定な時に「虎が吠える」不安を吹き飛ばしたいものです。

寅→虎に鑑み「藤堂高虎」の言霊を紹介します。「常によき友と付き合い、異見をも請け申すべく候、善悪は友によると聞き候」解釈は、常に良き友と付き合い、異なった考えでも受け入れるようにすべきである。人はその友達によってよくも悪くもなるものであるから・・。高虎は近江出身、伊勢津藩の初代藩主、篠山城（兵庫）伊賀上野城（三重）膳所城（滋賀）各藩主であった。関西地区に縁が深く、築城技術に長けた名将である。私の好みの戦国武将の一人であり、私の人生格言の一つでもあります。卒業生のみなさんに少しでも感銘を与える事が出来ましたら幸いです。

注目すべきは桑校同窓会令和三年度幹事総会にて、「同窓会奨学財団設立」そして「桑高青春応援プロジェクト」この二本柱がすでに活動をスタートしました。特にこの「青春応援支援」は、桑高ＯＢ・ＯＧに関係深く、また同窓会東西支部の今後の発展の基となる活動の一つであります。この二本柱が今後順調に稼働する事を願うばかりです。

この度の「オミクロン株」は、感染力が強く第６波７波の来襲が予測されます。２年～３年続くこのコロナ感染拡大は、私達にとって心の挫折・迷いを繰り返します。この己の弱さに直面しながら、それでも昇る太陽のごとく立ち上がり続ける強い気持ちが平穏な時を取り戻すパワーとなります。私はその時が遠からず必ず来る時を信じる一人であります。

最後になりましたが、桑名高校同窓会の益々の発展を、そして会員皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。

【関西支部総会開催のご案内】

第11回支部総会を今年度中に何とか開催し親睦を深めたいと思います。事務局一同お待ちしております。

【関西支部連絡先】

支部長　杉本芳昭（10回生）
０９０－１４８５－８２１１
事務局長　木村陽一（23回生）
０９０－７１１７－８４８２
支援支局長　黒田幸司（37回生）
０８０－４３９４－１１３０
＊同窓会、同級会に関するご意向のある方は、右記までご一報ください。

【さよならセーラー服～こんにちはスーツ姿】

桑高制服リニューアル

桑名市東方の桑名高校は、二〇二二年四月の新入生から制服を一新する。現在は男子が詰め襟の学ラン、女子が襟の白い黒のセーラー服だが、男女ともに深い紺色で上下そろいのスーツスタイルとなる。女子はスカートに加え、防寒や防犯上の観点からパンツも選べる。

ジャケットと別色のパンツやスカートの組み合わせではなく、上下そろいのスーツの制服は県内の公立高校では珍しい。県内有数の進学校として知られる同校はビジネスや官公庁、政治、学術などさまざまな分野で卒業生が活躍。スーツの制服には、将来を見据えて世界で通じるフォーマルな服装に親しんでもらう狙いがある。水色の細いラインが格子状に入った半袖のボタンダウンシャツを夏服に用意した。

同校の起源は、一九一〇年創立の桑名郡立高等女学校にさかのぼる。四八年に同校など三校が統合して桑名高校に。統合時は定められた制服はなく、「華美でなければ自由」だったが、女子は五一年にセーラー服と決まった。男子の制服に決まりが設けられた時期は不明だが、古くから多くが学ランを着ていた。

今年は郡立高等女学校から数えて創立百十一周年に当たり、「一」がそろうのを節目に一新を検討してきた。大きな変更は初めて。他校と差別化を図り、独自色を打ち出す狙いもある。在校生は卒業まで現在の制服でも構わない。

（中日新聞記事より）

【夏の制服写真】

桑高の長い歴史をボタンに表現

【リニューアルへの感想】

『やはり賛否両論ですが…』

１９７０年（昭和45年）には、生徒自治会から活発な声が上がり、頭髪規制が撤廃され、男子の丸坊主が長髪へ自由化を果たした歴史がありました。当時の桑名高校は自由活発な校風でした。

そして今回の変更には、ＬＧＢＴＱなどの時代の要請する課題が、その時期を早めた要因のようです。

年長者は、セーラー服を懐かしみ残念がっております。

若いお母さん方は、かわいいと好評ですが、学生たちはどう思っているのでしょうか。

『セーラー服へのあこがれ』

長めの紺のスカート、裾に白線があってひだが深く、上はセーラー大きな白の襟カバー。その制服に憧れて昭和18年、県立桑名高等女学校に入学しました。

だけど嬉しい夢は、太平洋戦争勃発で破れました。スカートの白線は廃止され、もんぺ姿に変わりました。あの時の悔しさは、今もって忘れません。一度着たかった憧れの制服です。

（県女36回生）

【桑高制服の歴史】

PTA家庭教育部委員会で女子制服最終決定

1951年（昭和25年）それまでは特に制服としてさだめられたものではなく、華美でないものならば自由となっていた。実際には卒業アルバムなど見る限り、それぞれの旧制女学校時代のセーラー服を着用していたようである。

女生徒制服ほぼ決定
PTA家庭教育部委員會で最終決定

【桑高新聞9号】1951年（昭和26年）

しかし、衣料事情も良くなり、中には派手な服装も見られるようになったことから、学校として検討することとなった。各クラスから選ばれた女生徒による生徒代表懇談会が開催され、制服を決めること、型は先生に見本を創って欲しいなどが決まった。

親への調査結果からセーラー服となり、職員会議で二種類が選定され、投票が行われ「ひだ付きスカート、ネクタイは黒」は共通で、セーラー服「白線なし、白衿カバー付」が305票、「白線三本」が113票であった。この投票結果に基づきPTA家庭教育委員会が最終決定した。

（桑高百年史より引用）

県女生徒　1926年（昭和元年）

『商業科入学の手びき』1991年（平成3年）

授業風景　1948年（昭和23年）

珠算部1974年（昭和49年）【夏の制服写真】

桑名高校制服の変遷　　出典：桑高百年史より

西暦	和暦	出来事	特徴
1910	明治43年	郡立高等女学校創立	和装・海老茶の袴（裾に白線1本）
1921	大正10年	町立裁縫女学校設立	昭和18年に桑名市立高等女学校に改称
1923	大正12年	洋服が定められる	スカートの裾（白線1本）1926年の写真
1926	大正15年3月	県立桑名中学校開校	
1948	昭和23年5月	三重県桑名高等学校創立	県女、市女、桑中の統合により桑名高等学校に 女生徒は、それぞれの旧制女学校の制服を着用
1951	昭和26年9月	女子制服決定	投票によって「ひだ付きスカート・ネクタイは黒」 セーラー服「白線なし、白衿カバー」を選ぶ
2022	令和4年4月	新制服の採用・セーラー服 71年の歴史にピリオド	濃紺スーツ、ひだ付きスカート、スラックスも可 ボタンにkuwana.HS　since 1910の文字が入る

桑高青春応援プロジェクト ～同窓生からのメッセージ～

事務局　伊藤剛康（41回生）

桑名高校の卒業生は、様々な業界で活躍しています。同窓生からの桑名高校へのメッセージを、同窓会のホームページにアップします。

あらゆる世代の方々が、高校時代の思い出や、自身の進路選択、現在活躍する職業のターニングポイントにまつわるお話を語っていただいています。大学の紹介にも触れており、現役生の方にも参考にしていただける内容です。

この度、第一弾として、会社経営者、俳優、報道関係者、歴史研究家の方々が登場します。ホームページへの掲載は3月1日より公開開始です。今後も法曹界、技術者、医療関係者などエキスパートに登場いただく予定です。

また、このプロジェクトに参加いただく同窓生も募集しています。「我こそは！」という方は、事務局までご一報ください。

桑高同窓会 HP

事務局LINE（伊藤）
QRコード

3月1日 桑高同窓会ホームページに公開開始…

【トピックス】『女性ランナーの活躍』

2022年1月16日、毎年恒例の冬の都大路を駆け抜ける「都道府県対抗女子駅伝」が開かれ、三重県は33位で前回記録を3秒縮める力走を見せました。

その三重県代表の走者の中に、桑高の先輩と現役のランナーが選ばれて、先輩から後輩にタスキを繋ぎました。

ひとりは、4区を走った垣内瑞希さん（順天堂大学2年生）と、5区を走った森田日世莉さん（桑高3年生）です。

垣内瑞希さんは、順天堂大学の選手として「全日本大学女子駅伝」や「富士山女子駅伝」でも好成績を記録しています。また、森田日世莉さんと垣内瑞希さんは「美し国・三重市町対抗駅伝」の選手として、桑名市の優勝に幾度も貢献しています。

お二人の今後のご活躍をお祈りします。

タスキを繋ぐランナーたち

【トピックス】『桑名高校美術部展』

2022年2月5～6日、桑名高校美術部展がNTNシティホール1F展示室にて開催されました。

2020年1月には、同窓会と美術部との「第1回合同絵画展」として開催しました。

卒業生33名から出品があり、600名を上回る来場者がありました。

その後はコロナ禍のため開催は出来ず、今年は部員7名の作品展示となりました。

桑高同窓会の活動

2021.2.6

【第2回役員会】

伊藤会長挨拶

役員会風景

【奨学財団臨時評議員会】

設立時評議員

2021.2.26

【同窓会全日制入会式】

伊藤会長挨拶

伊藤校長挨拶

【同窓会定時制入会式】

加藤副会長から記念品授与

【トピックス】『桑名高校ダンス部公演』

2021年3月29日、桑名高校・ダンス部公演がNTNシティーホール大ホールにて開催されました。

ダンス部は、部員数も約80名の人気の部活です。

三重県でもトップレベルで、県下のダンスフェスティバル受賞歴も多数あります。

みなさん、応援しましょう。

【トピックス】『同窓生著書文庫』

『あなたは知っていましたか？』

現在、桑名高校の図書室は、C館一階にあります。特に放課後には本好きの生徒や、自習目的の生徒が活用しています。

その一角に「同窓生著書文庫」の本棚が、ひっそりと佇んでいます。この本棚に並ぶ書籍は、先輩同窓生の著書です。

学術書がほとんどで、数学を始め難しい内容です。残念なのは古いものがほとんどです。

今回、制服の歴史資料を探しに行って確認しました。

私たち同窓会はこの本棚の維持はもちろんのこと、新しい著書の発掘と充実に力を注がねばと思いました。

（同窓会報編集委員）

同窓生著書文庫（桑高図書館）

令和３年 桑高生の活動

スポーツ大会　2021.7.13～15

2年生　修学旅行（伊勢志摩）　2021.10.18～19

3年生　遠足　2021.10.20　（ナガシマスパーランド）　1年生　遠足

1年生　遠足　2021.10.20

衛生看護科 戴帽式　2021.11.18

定時制入学式　2021.4.9

クラスマッチ　2021.7.20

修学旅行　2021.11.25

授業風景　2021.11

過去5年間の大学合格状況（過年度生徒含む）

大学名＼入試年度	2017	2018	2019	2020	2021
北海道	0	2	1	1	1
東北	2	0	1	0	1
筑波	2	1	0	0	1
千葉	2	0	1	0	0
お茶の水女子	1	0	0	0	0
東京	0	0	0	0	0
東京外国語	0	1	0	0	1
東京学芸	1	2	2	1	1
東京芸術	0	0	0	0	0
東京工業	0	0	1	0	0
一橋	1	1	0	0	0
横浜国立	3	2	0	1	4
富山	1	0	7	11	4
金沢	0	3	7	1	5
福井	6	1	4	2	8
山梨	0	0	1	1	0
信州	10	10	0	9	8
岐阜	7	3	5	1	1
静岡	7	4	7	5	8
愛知教育	7	5	3	2	7
名古屋	15	9	16	9	12
名古屋工業	3	9	7	3	3
三重	32	48	53	41	51
滋賀	1	1	2	0	2
京都	1	1	2	0	2
大阪	1	1	2	2	2
神戸	2	2	0	3	2
奈良女子	0	0	3	1	0
岡山	1	0	2	1	1
広島	3	2	1	3	5
九州	1	0	0	0	1
その他国立大	7	10	21	14	14
国立大合計	117	118	144	112	145

大学名＼入試年度	2017	2018	2019	2020	2021
東京都立	1	1	1	2	0
横浜市立	0	1	0	1	1
岐阜薬科	1	1	0	0	1
愛知県立	3	7	4	4	5
名古屋市立	13	9	7	7	2
三重県立看護	3	2	3	2	1
大阪市立	1	1	1	1	0
その他公立大	19	19	25	18	31
公立大合計	41	41	41	35	41
自治医科	2	1	1	0	0
青山学院	0	4	0	7	4
慶応義塾	0	3	6	4	1
上智	2	0	2	0	0
中央	11	4	2	4	12
東京理科	12	13	11	2	14
法政	12	3	1	4	5
明治	11	9	4	4	12
立教	1	2	2	3	2
早稲田	1	3	2	4	1
愛知	46	43	54	84	44
愛知工業	6	21	16	35	45
愛知淑徳	40	16	42	56	19
金城学院	43	20	16	24	17
椙山女学園	30	20	11	23	21
中京	86	58	54	127	69
名城	96	116	125	87	129
南山	130	56	78	61	35
皇學館	16	16	16	36	9
同志社	22	23	20	17	12
立命館	43	34	47	46	65
関西	5	7	7	15	7
関西学院	4	7	5	7	2
その他私立大	264	298	257	386	338
私立大合計	854	734	777	1036	863
三重短	6	10	1	0	0
国公立短合計	7	13	1	0	1
私立短合計	2	8	1	2	3
就職者数（現役のみ）	1	1	0	2	2

令和4年3月卒業生

課程	学科	男	女	計（人）
全日制	普通科	１２７	１４３	２７０
	理数科	２２	１８	４０
	衛生看護科	０	３７	３７
	専攻科	０	３７	３７
定時制	普通科（３修制含）	８	５	１３
合計		１５７	２４０	３９７

令和4年3月卒業生の同窓会幹事・恩師の先生

【 全 日 制 】

学年代表幹事	３年１組　伊藤　楓真	註：「代表幹事」は当該卒業生の全体を統括する代表者	
普通科代表幹事	普通科１組　伊藤　楓真	理数科代表幹事	理数科８組　水谷　元徳
看護科代表幹事	衛生看護科９組　堤　梨乃	専攻科代表幹事	衛生看護専攻科　増田　美温
卒業生の恩師	３学年主任　岡野　秀裕	教科　数学	部活動顧問　バドミントン

クラス（学科）	クラス幹事		学級担任	教科	部活動顧問
１組（普通科）	伊藤　楓真	林　咲優	今井　龍	国語	ソフトボール
２組（普通科）	加藤　香穂	渡部　結衣	酒井　利明	地歴	山岳
３組（普通科）	吉冨　由紗	渡部　綾	青木　健	国語	ソフトテニス
４組（普通科）	舘　琉生	平野　樹	辻岡久美子	英語	競技かるた・ソフトテニス
５組（普通科）	奥村　真歩	西尾　咲穂	長岡　久美	英語	演劇・空手道
６組（普通科）	小羽根京昌	田中　璃空	戸塚　雄人	数学	ボウリング
７組（普通科）	菅田　陸斗	山下　航平	川邉　美明	物理	バレーボール・放送
８組（理数科）	野呂　心人	水谷　元徳	野崎　順二	化学	サッカー・囲碁将棋同好会
９組（衛生看護科）	小林　花音	堤　梨乃	上野　恵子	看護	バドミントン・茶道
衛生看護専攻科	増田　美温	山下　若葉	竹河　茜	理科	茶道・ソフトテニス

【 定 時 制 】

定時制幹事	○高野　大成	三矢　吏桜	学級担任	青山　茂樹　（理科）

母 校 の 主 な 活 躍

クラブ・他	大会名	種目	結果	氏名
体操部	令和3年度三重県高等学校体操競技春季大会	男子団体	２位	内田匠海・水谷　圭・中条春斗
剣道部	第７回東海高等学校剣道選抜大会	男子団体の部	５位	中島悠登・高橋祐次・佐賀陽太 本田武琉・加藤将己・柴田一樹 五嶋孝至・村田尚紀
	令和３年度三重県高校総体剣道競技兼東海高校総体・全国高校総体県予選	男子団体の部	３位	中島悠登・高橋祐次・佐賀陽太 本田武琉・加藤将己・柴田一樹 高橋佳史・太田真斗
ボウリング部	第45回全日本高校ボウリング選手権大会		全国大会出場	木津友吾
競技かるた部	第23回三重県小倉百人一首かるた中高生大会	高校生の部	２位 ３位 ４位	内山琴葉 羽根夏鈴 笹間あい
SSH	みえ探究フォーラム2020	口頭発表部門	最優秀賞	安藤玲美・鈴木蓮也・中西輝翔 森　謙次朗・山上真央
		ポスター発表部門	最優秀賞	石川大晴・牧田彩乃・伊藤由奈 小川愛莉・小羽根京昌・中村紀映
	第65回日本学生科学賞	ポスター発表	最優秀賞	鈴木蓮也
個人	第45回全国高等学校総合文化祭　三重県予選会	弁論部門	最優秀賞	秋葉千尋
	第67回青少年読書感想文コンクール	三重県審査	優秀賞	下村健太
陸上競技部	第51回三重県高等学校陸上競技春季大会	3000m	１位	森田日世莉
	第74回三重県高等学校陸上競技対校選手権大会	3000m	１位	森田日世莉
	第64回東海陸上競技選手権大会	1500m	１位	森田日世莉
	第36回三重県高等学校駅伝競走大会	女子	３位（東海大会出場）	森田日世莉・内田心結・伊藤実桜 山内柚依・前田あおい
	第60回三重県高等学校新人陸上競技大会	走幅跳	５位（東海大会出場）	江上貴紀
		1500m	５位（東海大会出場）	前田あおい
		3000m	３位（東海大会出場）	前田あおい
		4 × 100mR	６位（東海大会出場）	黒田侑花・田中万琳・森岡彩乃 野口結夢
水泳部	三重県高等学校対抗水泳競技大会	100m 平泳ぎ	１位	谷口　空
		50m 自由形	１位	奥村日菜
		400m 個人メドレー	１位	髙田千愛
		200m フリーリレー	１位	奥村日菜・山下千遥・須賀浦　彩 治郎丸遥
		400m フリーリレー	１位	奥村日菜・髙田千愛・須賀浦　彩 治郎丸遥
		400m メドレーリレー	１位	奥村日菜・鈴木日香理・髙田千愛 須賀浦彩
		女子総合	１位	
		男子総合	４位	
	三重県高等学校総合体育大会水泳競技	100m 平泳ぎ	１位	谷口　空
		50m 自由形	１位	奥村日菜
		400m 個人メドレー	１位	髙田千愛
		400m メドレーリレー	１位	治郎丸　遥・鈴木日香理・髙田千愛 奥村日菜
		400m フリーリレー	１位	奥村日菜・髙田千愛・山下千遥 治郎丸　遥
		800m フリーリレー	１位	奥村日菜・髙田千愛・山下千遥 治郎丸　遥
	三重県新人水泳競技大会	50m 自由形	１位	奥村日菜
		200m 個人メドレー	１位	奥村日菜

桑名高校同窓会 令和２年度事業及び会計報告

令和２年度　事業報告

（令和２年８月１日～令和３年７月31日）

令和２年８月25日(火)

令和1年度会計監査　　萱野税理士事務所

令和２年８月30日(日)

令和2年度第1回役員会　　NTNホール大会議室

令和２年10月13日(火)

正副会長打ち合わせ会　　朝日鋳工所会議室

令和２年10月17日(土)

令和２年度第１回企画委員会　NTNホール大会議室

令和２年11月14日(土)

令和２年度臨時役員会　　NTNホール大会議室

令和２年12月6日(日)

令和２年度同窓会幹事総会　　NTNホール大会議室

令和３年２月６日(土)

令和２年度第２回役員会　　NTNホール大会議室

令和３年２月25日(木)

会報「桑高同窓会」第39号発行

令和３年２月26日(金)

令和２年度「同窓会入会式」　　体育館・視聴覚室

(コロナ禍により以下の事業は中止しました)

2020(令和２)年度第３回役員会

2020(令和２)年度第２回企画委員会

令和２年度　会計報告

（令和２年８月１日～令和３年７月31日）

		科目	予算	決算	増減
収入の部		入会金	1,800,000	1,805,000	5,000
		会費	900,000	0	△ 900,000
		事業収入	0	0	0
		会報誌購読料	0	472,000	472,000
		雑収入	0	326,469	326,469
		受取利息	900	818	△ 82
	①	当期収入合計	2,700,900	2,604,287	△ 96,613
支出の部		総会費	900,000	97,200	△ 802,800
		会議費	350,000	60,807	△ 289,193
		印刷費	250,000	27,500	△ 222500
		通信費	400,000	226,203	△ 173,797
		広報費	400,000	424,263	24,263
		事業費Ⅰ	0	0	0
		事業費Ⅱ	250,000	0	△ 250,000
		慶弔費	100,000	0	△ 100,000
		支部助成金	200,000	200,000	0
		入会記念品	250,000	206,555	△ 43,445
		交通費	50,000	0	△ 50,000
		名簿管理費	100,000	0	△ 100,000
		雑費	50,000	20,287	△ 29,713
		110周年準備費	0	0	0
		予備費	500,000	0	△ 500,000
	②	当期支出合計	3,800,000	1,262,815	△ 2,537,185
③		当期収支差額①－②	△ 1,099,100	1,341,472	2,440,572
④		前期繰越金	15,312,385	15,312,385	0
⑤		次期繰越金③＋④	14,213,285	16,653,857	2,440,572

財　産　目　録

（令和３年７月31日現在）

	科目	内訳	金額
資産の部	現金		41,542
	普通預金	桑名三重信用金庫	4,090,925
	〃	ゆうちょ銀行	3,022,425
	振替貯金郵便	矢田郵便局	467,947
	定期預金	桑名三重信用金庫	9,031,018
	預貯金合計		16,612,315
	資産合計		16,653,857

令和4年度 桑名高校同窓会役員

会　　長　伊藤　隆彦(全１１回生)
副 会 長　加藤　武夫(定１１回生)
　　西村　治生(全２３回生)
　　岡野　良子(看　７回生)
理　　事　上田　広吉(全１１回生)
　　石川　郁子(全１５回生)
　　竹山　延幸(全２０回生)
　　岩谷　幹生(定１８回生)
　　加藤　　寛(全２２回生)
　　水谷　栄一(全２２回生)
　　長瀬　　浩(全２４回生)
　　後藤　隆彦(全２５回生)
　　水谷　康朗(全３０回生)
　　渡辺　浩子(全３１回生)
　　水貝千寿子(全３１回生)
　　長谷川久美(全３２回生)
　　荒木　佳代(看　７回生)
　　井谷　和恵(看１９回生)
　　柴田 幸夫 (全３８回生)
　　石上　秀之(全３９回生)
　　伊藤　剛康(全４１回生)
　　花村　泰廣(全３４回生・東京支部長)
　　杉本　芳昭(全１０回生・関西支部長)
会計監事　伊藤　　巧(全２４回生)
　　萱野　治道(全２６回生)
　　小杉　　悟(全３１回生)

【奨学財団からのご報告】

財団理事長　伊藤　隆彦

令和3年4月5日、「一般財団法人県立桑名高等学校同窓会奨学財団」は、設立されました。

特定の高校の卒業生が奨学金給付を目的に財団を立ち上げるのは、全国でも珍しく、県内では初めてです。

奨学金の原資となった寄付金は、令和2年10月に卒業生から同窓会に匿名で寄せられました。新型コロナの感染拡大などで経済的に打撃を受ける家庭が増え「学習意欲がありながら、経済的な理由により修学が困難な桑高生を救いたい。」と、三千万円を託されました。

奨学金財団設立に向けた準備委員会を開き、給付対象や選考方法を検討し、一般財団法人を立ち上げ、設立時の代表理事長には、桑名高校同窓会の伊藤隆彦会長が就任しました。

給付対象者は、三重県教育委員会の「三重県高校生等奨学給付金」制度または、「家計急変により収入が激減した世帯対象」制度のいずれかに申請し、受給している生徒を当面の対象とました。給付額は年間十二万円で、返済不要としています。

先般、設立後初の令和3年度「桑高生奨学金給付」の受給者が決まったのを受け、12月22日に「授与式」を挙行し、受給目録が伊藤隆彦理事長から伊藤隆之校長先生に手渡されました。

“目録授与式”2021.12.22

今後、財団では「桑高生奨学金給付」を継続しつつ、寄付者の税負担を軽減するための公益法人を目指し、新たな寄付を呼び掛けて財団の存続を図り、桑名高校に限らず県内の高校生を支援する仕組みの構築を目指します。

財団の詳細については同窓会ホームページの財団公開情報をぜひご覧ください。

桑高奨学財団ＨＰ
https://kuwakoob.com/shogaku/

桑高同窓会は、
皆さんを応援しています。

桑高同窓会公式ホームページ

https://kuwakoob.com

https://www.facebook.com/kuwakoob/